

関電よ老朽原発うごかすな！大集会 1月24日(日)13:30 関電本店前 集会後梅田までデモ行進

関電が極めて危険な美浜3号機、高浜1号機の再稼働を画策する中で、24日に老朽原発うごかすな！実行委員会の主催で集会とデモが呼びかけられている。13時30分に関電本店前で集会を行ない、集会後に西梅田公園まで移動し、そこから梅田までデモ行進が行なわれる。12月4日の大阪地裁判決で関電大飯原発の地震動の安全審査が正しく行われていないことが明らかになり、運転の差止が判決された。関電は直ちに原発を停止すべきである。

老朽炉＝高浜・美浜の再稼働を止めろ

関電の高浜1・2号機、美浜3号機は40年を超える老朽原発である。原子力規制委は既に「40年超運転」を認可し稼働は地元の同意待ちである。高浜町議会は11月に、そして美浜町議会は12月に同意をきめた。福井県は稼働の前提として昨年未までに「使用済核燃料を県外保管するメド」を関電に要求してきた。しかし関電は県との約束を守らなかった。福井県は「約束が守られず誠に遺憾。明確な報告がない今の状況では、原発40年超運転をはじめ、原子力のさまざまな課題の議論を進めることが出来ない」と関電の姿勢を批判した。

関電よ老朽原発うごかすな！大集会
1/24(日) 13:30
関電本店前
主催：老朽原発うごかすな！実行委員会

「12/4大飯原発停止判決」が示している「地震動の過小評価」は高浜原発ではより深刻であり、基準地震動は700ガルでなく1100ガルとなる。規制委は誤れる「認可」を取り消し再審査すべきである。福井県知事は再稼働を決して承認してはならない。

関電の原発は配管破損などが続き稼働は不可能

関電の原発については、高浜原発3・4号機の定期検査で1次系のSG細管で損傷が4回も発見されており、この原因究明と対策なしには運転再開は困難である。

また定検中の大飯3号機では、9月に1次系配管に大きな傷が発見された。関電の調査では、配管の傷は溶接

時に熱が高すぎたことによる損傷であり、他の部位を含め約40箇所の検査が必要とのことである。関電は一部だけの検査をして、残りは次回以降の定検まわしとして再稼働を目論んでいる。こんなにも安全性を軽視する関電の対応には規制委員会からも批判が強まっている。

東日本大震災から10年／復興進まず

東日本大震災から10年たとうとしている。「共同通信」の意識調査では、福島県では復興を「順調」「どちらかといえば順調」とする人は合わせても30%である。福島事故原発はまだ復旧にはほど遠く、被災地からは今なお全国に3.7万人の人々が避難している。そして県内には帰還困難区域が残り、県内には放射能汚染物の「貯蔵施設」が建設され、住民には半強制的な帰還事業が進められ、住民にたいして汚染下での生活が強要されている。



市民の意思は原発をなくせ！（世論調査より）

朝日新聞の世論調査(2020/12)によると、「反原発」の意見は市民の絶対多数である。自信を持って闘おう！！

- 原発利用について：賛成 29 / 反対 57
- 原発はどうする：即ゼロ 9 / 近い将来ゼロ 62 / 残す 21
- 原発は安上がりか：安上がり 28 / 高くつく 50
- 原発は温暖化防止に：役立つ 28 / 役立たない 55
- 福島処理水の海洋投棄：賛成 32 / 反対 56
- 風評被害不安：大いに 42 / ある程度 44 / 感じない 11

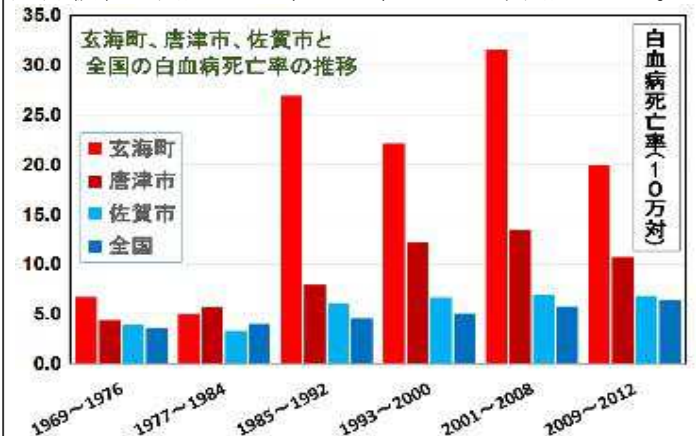
トリチウム汚染水の海洋投棄は白血病の多発を招く！

1月4日の朝日新聞の世論調査によると、汚染水の海洋投棄について賛成は33%、反対が55%を超えている。放出には賛成でも風評不安が68%に達している。トリチウム汚染水の危険性を隠蔽し、「処理水」と偽っての調査でもこの結果である。政府と東電はタンク容量から逆算し昨年夏には「海洋放出」を決定する予定であった。しかし住民と漁業者の反対で、政府は決定できていない。1月6日には東電はタンクの増設を検討するとした。「海洋投棄」を阻止するためにもう一歩だ！頑張ろう！

トリチウム汚染水は白血病の多発を起している

2015年に森永徹氏が発表した「玄海原発と白血病」によると、日本の原発でトリチウムを最大量放出している玄海原発周辺では、原発が稼働以来の白血病死亡率が顕著に増加している。今回の放出計画はそれと比べると量的に大きく、期間は長い、もし放出されると福島と

海流に沿って岩手、千葉、東京への影響が、そして海洋を通じて世界への影響が予想される。トリチウム放出は、風評被害の問題でなく、まさに住民の健康問題である。



「原発ゼロ」を決められない立憲(朝日 1/7)

立憲民主党は策定中の基本政策に「原発ゼロ」を盛り込めなくて苦慮している。旧国民党の出身議員が、支援を受ける電力総連や電気労連など労組との関係で強行に反対。「原発ゼロ」の結党理念が危うくなっている。

ソウル中央地裁、日本軍慰安婦に賠償を(朝日 1/8)

旧日本軍の慰安婦だった韓国人女性12人が日本政府に慰謝料を求めた訴訟の判決があり、地裁は原告の訴えどおり1人1億ウオンの慰謝料支払いを命じる画期的な判決を行った。日本政府は他国の裁判権が及ばないとする「主権免除」を理由に裁判を認めてこなかった。

横浜市議会、IR住民投票条例を否決(朝日 1/8)

林横浜市長がカジノを含む統合型リゾート(IR)の誘致を進める中で、市民団体が法定数の3倍以上の19万筆の署名で住民投票の条例案を請求した。これに市長は「意義がない」とし、議会では自民・公明が否決した。

安倍氏不起訴審査申立てを受理(朝日 1/9)

安倍晋三後援会が「桜を見る会」前日の夕食会の収支を報告書に記載しなかった件で、安倍氏を不起訴とした東京地検特捜部の処分を不当とする市民団体の申し立てを東京第一検察審議会が4日付けで受理した。「税金私物化を許さない市民の会」は、「秘書が勝手にやったので知らなかった」は到底信用出来ないと訴えていた。

菅内閣の支持率急激に低下(JNN世論調査 1/11)

TBSによるとJNN世論調査で、菅内閣の支持率は不支持が55.9%となり支持を逆転した。菅政権のコロナ対策について63%が評価していない。緊急事態宣言については83%が遅すぎると評価した。オリンピックの開催については81%が開催できない。「さくらを見る会」の安倍氏の説明については80%が納得できないとした。

「住民投票」の民意に逆らう 「行政一元化条例」を許すな！ 市議会・府議会に向け条例反対の声を

2度にわたって「大阪都構想」が否決されたのに、大阪維新は今年2月の府・市議会に「広域一元化」と「総合区」を提案し、大阪市の財産と権限を大阪府に取り込もうとしている。



新型コロナ感染対策が不十分！条例策動は止めろ！

大阪府の新型コロナ対策は、12月は全国最大の死者数となり、逼迫する重症者数など極めて深刻な状況である。ところが、東京や首都圏が「非常事態」を要求したのに対し、吉村知事は「大阪は高止まりしているが、そんな深刻ではない」とテレビで発言し医療関係者や他県から批判された。そして翌日から感染者数は急激に増加し、「非常事態」を申請することになった。

大阪維新のメンツという党利党略、不急不用な「条例化」は止めて、新型コロナ感染対策に全力で当たるべきである。新型コロナ禍で市民が内容を考える余裕がないことをいいことに、議会内の「多数派」を悪用して進めることは許されない。隠れてコソコソすることは止めろ！

案内 2/11 スガも維新もいらない！

命と人権を守る教育を！

主催:日の丸・君が代強制反対大阪ネット
会場:天王寺区民センター(谷町線「夕陽丘」)
日時:2月11日(火)13時30分~
講演:「拍車かかる国権主義の果てに~

“冷たいファシスト”菅首相の危険な罫

講師:瀬藤 厚さん

新自由主義を掲げ、差別・抑圧・貧困を強制する菅政権。そこから派生する数多くの矛盾を隠蔽するために動員される「日の丸・君が代」の掲揚と斉唱。むき出しの国家権力を私は「国権主義」と呼ぶ。なぜ「建国記念の日」が制定されたのか。あらためて2.11を問う。

案内 日本学術会議「任命拒否」を問う

主催:止めよう改憲!大阪ネットワーク



講師:松宮孝明(任命されなかった)

立命館大学法務研究科教授
日本刑法学会理事、九条の会

会場:エルおおさか南館5F

日時:2月13日 2時開会

日本学術会議は創立のときから、研究者が軍事研究を強いられたという戦争の反省に立つてつくられた組織である。

2017年にも、日本学術会議は軍事研究に反対する声明を出した。声明の背景には、学問の自由を守るためには軍事研究へと誘導してはいけないという強い思いがあった。

敵基地攻撃能力保有が叫ばれている現在、軍事研究を迫る動きが強まっている。日本学術会議の新規会員の推薦6名の「任命拒否」には、軍事研究のために日本学術会議に影響を与えてコントロールする狙いがある。



自分の意見を通すために、大統領が議会を占拠させるのが民主主義なのか

トランプ米大統領は、選挙での敗北を認めず、「上下院合同会議」の議長であるペンス副大統領に不正選挙であったとして選挙結果の確定を行わないように指示していた。そして議会とペンス副大統領に圧力をかけるために、トランプ支持者に対して議事堂前集会への参加をよびかけた。混乱が予想されたため、州兵の動員も検討されたがトランプ大統領に拒否された。議事堂前集会に出席したトランプ氏は議事堂に行くことを呼びかけ、参加者は警察隊のバリケードを突破して敷地内に乱入し、外壁をよじ登り、テラスの窓ガラスを割って議事堂内に侵入した。議場内での乱暴狼藉は、州兵がようやく動員されて「安全が確保」されるまでの4時間ちかく続いた。

トランプ大統領の目論見は、失敗に終わったが、トランプは拘束も逮捕もされず、まだ大統領としてふるまっている。そしてトランプは核兵器のスイッチを持ち続けている。これがアメリカ合衆国の民主主義の今の姿である。